

トムス  
ハイパー  
コンプレッサーキット  
ソアラ・SC430（UZZ40）用

13600 - TUZ40  
13600 - TUZ41

**取り付け / 取り扱い説明書**

- ◆ お取り付け及びご使用前に必ず本書をよくお読みください。
- ◆ 本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書も譲渡してください
- ◆ 販売店殿 本商品お渡しの際、保証書およびユーザー登録ハガキに販売店印の押印、装着時走行距離および購入日を記入してください。押印および記入がない場合は保証対象外となりますのでよろしくお願ひします
- ◆ ユーザー登録ハガキは必ずご返送ください。ご返送ない場合は保証対象外となる場合があります



## 目次

【1】	ご確認ください	3
【2】	事前に準備いただくもの	3
【3】	はじめに	4
【4】	適応車種	4
【5】	<b>ご使用時の注意事項</b>	4
【6】	エンジンECUについて	4
【7】	保証について	5
【8】	構成部品表	6
【9】	構成部品図	7
【10】	取り付け	8

### 【1】 ご確認ください

以下の梱包箱があるかどうかご確認ください。

#### UZZ40用ハイパーコンプレッサーキット

- コンプレッサー本体 箱ラベル品番--- 13600 - TUZ40 1 / 5 1箱
- 部品1 (大箱) ----- 13600 - TUZ40 2 / 5 1箱
- 部品2 (小箱) ----- 13600 - TUZ40 3 / 5 1箱
- フロントパイプ----- 13600 - TUZ40 4 / 5 1箱 (SC430はなし)
- センターパイプ----- 13600 - TUZ40 5 / 5 1箱 (SC430はなし)

### 【2】 事前に準備いただくもの

作業を開始する前に以下のものを事前に準備してください。

注文は全国のトヨタ部品共販となります。

#### 部品

インテークマニホールドツューヘッドガスケット(トヨタ純正) 17171 - 50020 2個  
 パルセーションダンパーホースガスケット(トヨタ純正) 23232 - 41081 2個  
 パルセーションダンパーホースガスケット(トヨタ純正) 90430 - 12026 2個  
 スロットルボディガスケット(トヨタ純正) 22271 - 50042 1個  
 インジェクターOリング(トヨタ純正) 90301 - 07024 16個

#### 工具(必要に応じて準備する)

ユニオンナットレンチ 09023 - 38400

### 【3】はじめに

このたびは、トムスハイパーコンプレッサーキット（ソアラ・SC430-UZZ40用）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取り付けを以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。本取り付け説明書は各車両の脱着分解図を掲載してあります。更に詳しい内容については、各車両の修理書を参照して下さい。

### 【4】適応車種

本製品は以下の車種に対応しています。（H18年9月現在）

トヨタソアラ（UZZ40）（H12年8月～）

レクサスSC430（UZZ40）（H17年8月～）

### 【5】ご使用時の注意事項

**以下の注意事項を守らない場合、エンジンの破損に伴う事故となる場合がありますので十分ご注意ください**

- 1, 本製品を装着すると、エンジンの燃焼効率が改善され、エンジンの性能が向上いたします。ブレーキの性能を確認し、十分な制動力を確保して走行してください。
- 2, エンジンの過回転（回転計の「レッドゾーン」以上の使用）はエンジン破損につながります
- 3, 装着後、エンジンチェックランプが点灯したり、エンジンに著しい異常（振動、異音、黒煙の排出等）を感じた場合はただちに使用を中止し販売店等に連絡してください
- 4, 取り付け後、数キロ走行した後に、ボルトの緩みやベルトの干渉、ガソリン、冷却水の漏れ等をチェックしてください。
- 5, **ガソリンは必ず「無鉛ハイオク」をご使用ください。レギュラーガソリンや粗悪ガソリンを使用するとノッキングをおこしエンジンが破損する場合があります。**
- 6, エンジンオイル・オートマチックトランスミッションオイルは通常よりこまめに交換してください  

推奨交換時期	エンジンオイル5000Kmごと	ATFオイル20,000Kmごと
--------	-----------------	------------------
- 7, Vベルトは亀裂、ゆるみ、部品との干渉などをこまめに点検してください。

### 【6】エンジンECUについて

1. 車両に装着されている純正ECUに下記の送付用紙をコピー添付して弊社に発送してください。その際、純正ECUに装着されている**取り付けブラケットを必ず外し**お客様にて管理してください。
2. 純正ECUをTECに変更の際、弊社に純正ECU到着後、1～2週間程度車両が動かせなくなる旨、ご了承下さい。
3. お客様より弊社に送付される際の運賃はお客様にてご負担ください。

送付先 〒158-0082 東京都世田谷区等々力6-13-10 (株)トムス 営業部宛  
 TEL03-3704-6191 / FAX03-3704-9486

TOM'S T.E.C. 送付用紙 for HYPER COMPRESSOR KIT			
お客様お名前		TEL	直送先 (印 必ず 記入)
住所(お客様用)			
ご担当販売店名 ご担当者		TEL FAX	
住所			
共販・代理店 ご担当者		TEL FAX	
住所			

## 【 7 】 保証について

本製品について製造上の不具合が発生した場合、下記の期間と条件に従ってこれを無償修理(保証修理)いたします。保証修理は部品の交換または補修により行います(製品の返品等はお受けいたしません)。また、取り外した不具合部品は(株)トムスの所有となります。

### [ 1 ] 保証期間

➤ 保証修理の対象期間は以下の通りです

製品お買いあげ後 1 年間。但し期間内であっても装着後走行距離 2 0 . 0 0 0 Km まで

### [ 2 ] 保証の受け方

保証を受ける場合は、販売店に車両を持ち込み、保証書を提示の上保証修理をお申し付けください。原則として不具合部位を取り外し、(株)トムス宛ご返却いただき、調査後トムスにて現品を修理もしくは交換しご返却いたします。

### [ 3 ] 保証をしない事項

➤ 上記保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外となります

- 1, 本書に添付されている保証書に販売店押印、装着時走行距離および購入日の記載のない場合、または字句を書き換えられた場合
- 2, 保証書の提示がない場合
- 3, 使用損耗あるいは経年変化による劣化など、製造上の不具合と認められない場合
- 4, 登録後 4 年を経過した車両または走行距離が 5 0 0 0 0 Km 超えるエンジンに装着した場合
- 5, 輸送中の不具合
- 6, レース・ラリー等通常の使用状態と異なる使用方法による破損・不具合
- 7, 指定のガソリン(無鉛ハイオク)以外のガソリンおよび粗悪ガソリン等の使用による不具合
- 8, エンジンオイル・ATFオイルのメンテナンス不良に起因する不具合  
(推奨メンテナンス; エンジンオイル 5 , 0 0 0 Km ごと、ATF オイル 2 0 , 0 0 0 Km ごと交換)
- 9, 地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災によるもの。また薬品、融雪剤、塩害、飛石等の外部要因によるもの
- 1 0, 消耗品(Vベルト、ゴムホース類、ガスケット等)の破損・不具合
- 1 1, 本書に指示のある調整以外の調整をおこなった場合(例、規定以上にブーストを上げた場合など)、また、純正およびトムス指定以外の吸排気系部品や電子部品の装着によるもの
- 1 2, 取り付け作業時や分解時のまちがい、不備
- 1 3, 機能上影響ない「感覚的現象」および本製品特有の現象
  - 1) コンプレッサーの過給音等(過給時キーン音、クラッチ断続時のカチャ音など)
  - 2) 機能上差し支えないオイルにじみ
  - 3) 本製品が主原因でない振動・ハーシュネス

### [ 4 ] 保証対象外費用

➤ 以下に示すものの費用は負担いたしません

- 1, 自動車を使用できなかったことによる不便さおよび損失等(電話代、レンタカー代、宿泊費、休業補償、営業損失等)
- 2, 脱着工賃

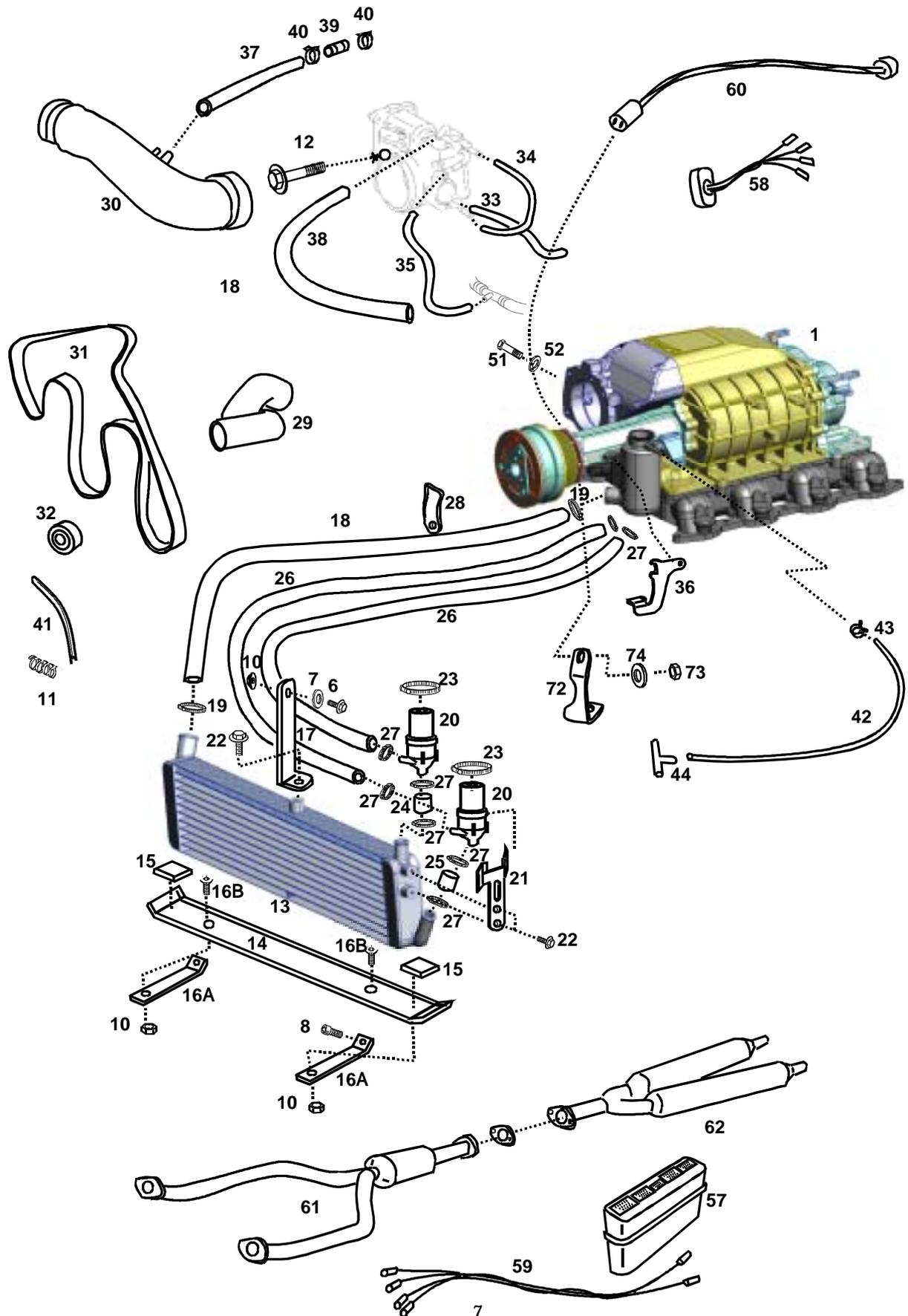
## 【 8 】 構成部品表

➤ 本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい

イラスト	品名	部品品番	個数	バック番号	仕様	備考
1	コンプレッサ-ASSY	13610-T3UZ0	1			
6	六角ボルト M6X1.0	13745-T3UZ0	1	5		
7	ワッシャー		1	5		
8	ボルト M6X1.0X14	13745-T3UZ0	1	5		
10	ロックナット M6X1.0	13747-T3UZ0	3	1個は5 2個は「ソアラ」		
11	インシュレータ	13801-T3UZ0	1			
12	スロットルボディ用ボルト&ワッシャー	13694-T3UZ0	1	4		
13	インタークーラーラジエターASSY	16510-T3UZ0	1			
14	インタークーラーラジエタートレ	16511-T3UZ0	1			
15	トレックッション	16515-T3UZ0	2		ネオフレックスホジ 粘着シート付	
16A	トレスター	16514-TUZ40	2			
16B	トレスターボルト	16513-TUZ40	2	「ソアラ」	皿キャップボルトM6×15	
17	インタークーラーラジエターステー	16512-TUZ40	1			
18	インタークーラーアウトレットホース	16554-T3UZ0	1			
19	アウトレットホースバンド	16572-T3UZ0	2		26-38mm	
20	ウォーターポンプ	16290-T3UZ0	2			
21	ウォーターポンプステー	16291-T3UZ0	1			
22	ウォーターポンプステーボルト	16293-T3UZ0	3	3	M6×15スプリングワッシャー付き	
23	ウォーターポンプクランプバンド	16292-T3UZ0	2		44-56mm	
24	ポンプtoラジエターホースNo.1	16551-T3UZ0	1		16×50mm	
25	ポンプtoラジエターホースNo.2	16552-T3UZ0	1		16×115mm	
26	インタークーラーインレットホース	16553-T3UZ0	2		内径 16 L=2000mmセルシオ1600ソアラ	
27	インレットホースバンド	16573-T3UZ0	8		22-32mm	
28	インタークーラーホースガイド	16554-T3UZ0	1			
29	ラジエターアッパーホース	16571-T3UZ0	1			
30	エアインレットホース	17875-T3UZ0	1			
31	Vリブベルト	16361-T3UZ1	1			
32	アイドルブリー	16604-T3UZ0	1		13503-88650	トヨタ純正
33	ウォーターバイパスホースNo.1	16261-T3UZ0	1		内径 8mm L=250mm	
34	ウォーターバイパスホースNo.2	16262-T3UZ0	1		内径 8mm L=320mm	
35	ウォーターバイパスホースNo.3	16263-T3UZ0	1		内径 8mm L=380mm	
36	ウォーターバイパスホースガイド	16555-T3UZ0	1			
37	ブローバイホースRH	12261-T3UZ0	1		内径 14×150mm	
38	ブローバイホースLH	12262-T3UZ0	1		内径 10×500mm	
39	ブローバイホースパイプ	12663-T3UZ0	1	2	外径 14 50mm	トヨタ純正
40	ブローバイホースバンド	12664-T3UZ0	2	2	90467-20005	
41	プロテクターモール	16519-T3UZ0	1			
42	リザーブタンクホース	16556-T3UZ0	1		8×950	
43	リザーブタンクホースバンド	16557-T3UZ0	1	2	96135-41300	トヨタ純正
75	リザーブタンクホース3ウェイ	16558-T3UZ0	1			
51	ソアラブースターユニオンプラグ	44730-T3UZ0	1	「ソアラ」		
52	シールワッシャー	44731-T3UZ0	1	「ソアラ」		
57	エンジンECU(TEC )	89600-TUZ40-SC	1		ソアラ	該当車両分
57	エンジンECU(TEC )	89810-TUZ41-SC	1		SC430	1個
58	スロットルセンサーハーネス	82215-T3UZ0	1		SC430は使用しない	
59	ウォーターポンプハーネス	82216-T3UZ0	1			
60	マグネットクラッチハーネス	82217-T3UZ0	1			
61	フロントパイプ	17420-TUZ40	1		SC430は設定なし	
62	センターパイプ	17410-TUZ40	1		SC430は設定なし	
72	ノーズステー	13751-T3UZ0	1			
73	ナット,ノーズステー	13752-T3UZ0	1			
74	ワッシャー,ノーズステー	13752-T3UZ0	1			
	取扱説明書(本書)		2		1部は保存用1部は取り付け用	
	Vリブベルトラベル		1			
	フェルコーションラベル		1			
	保証書・返信はがき		1			

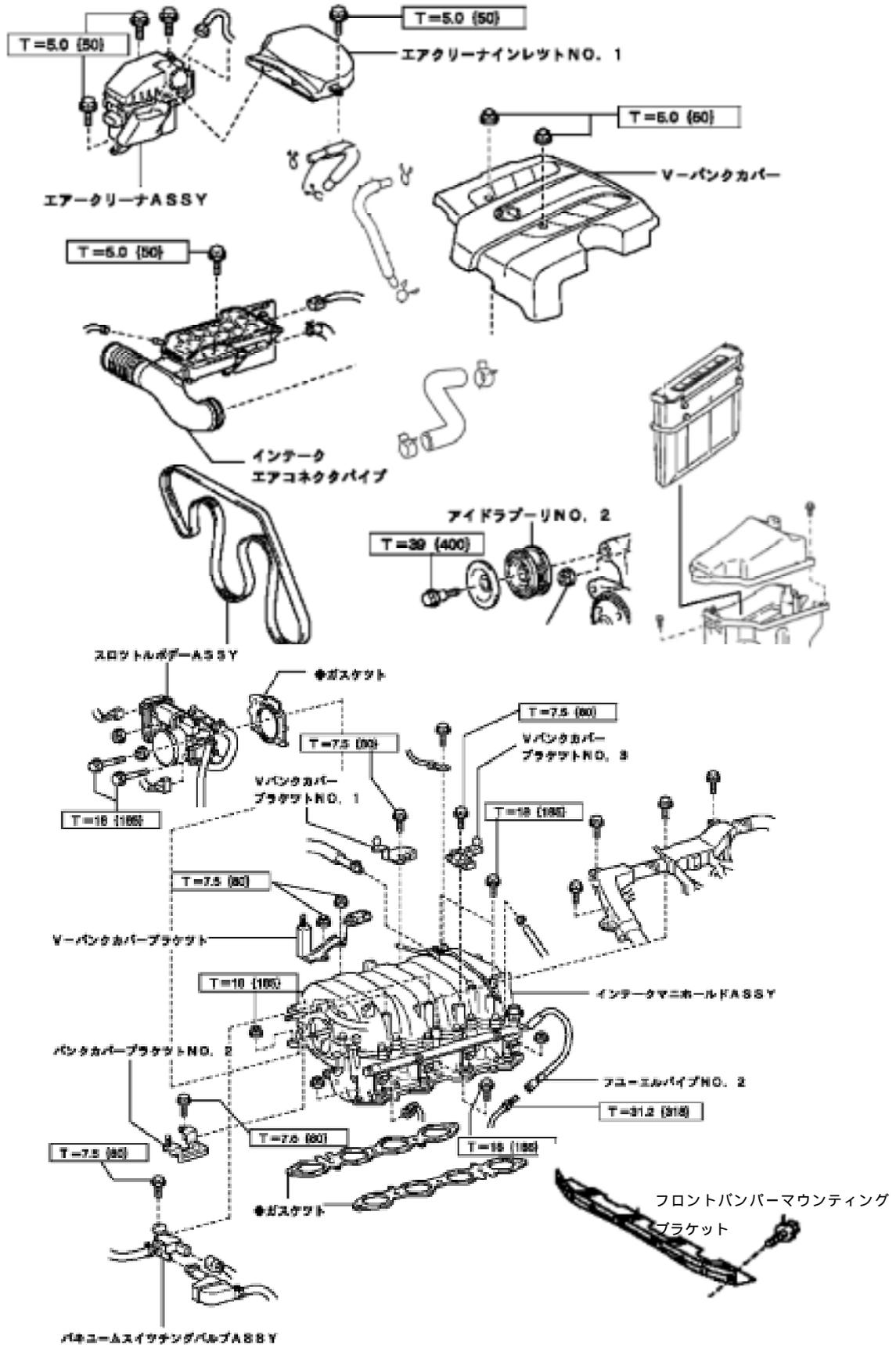
## 【 9 】 構成部品図

→ 構成部品表のイラスト番号と対応しています。



## 【10】 取り付け

[1] 純正部品はずし



1, エンジン ECU はずし

- 1) ボルト 3 本をはずし、エンジン ECU ボックスカバーをはずす
- 2) ナット 2 個をはずし、コネクターをはずしてエンジン ECU をはずす  
はずした ECU をトムス宛て送り、T E C 2 に変更する (返却までに 1 ~ 2 週間ほど必要です)  
詳しくは「4」「エンジン ECU について」を参照のこと

2, ラジエターグリルはずし

3, エンジンカバー・カバーブラケットはずし

4, エアクリーナーボックス・インテークパイプはずし

5, 冷却水抜き取り

6, ラジエターアッパーホースはずし

7, フロントバンパーマウンティングブラケットはずし

- 1) スクリュー 6 本をはずし、フロントバンパーマウンティングブラケットをはずす

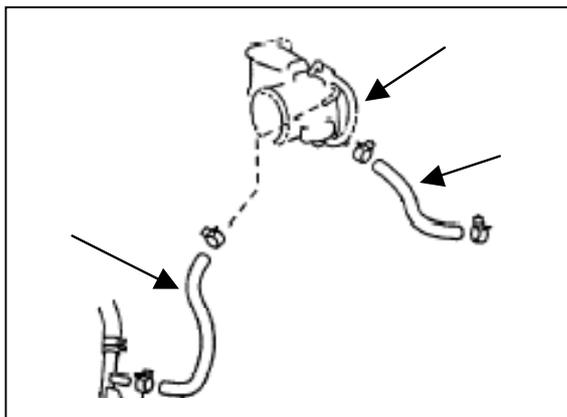
8, パワーステアリングアイドルアップホース切り離し (エンジン側をきりはなす)

9, ブローパイプ R / L はずし

10, キャニスターホース切り離し (エンジン側をきりはなす)

11, エンジンワイヤーハーネスはずし

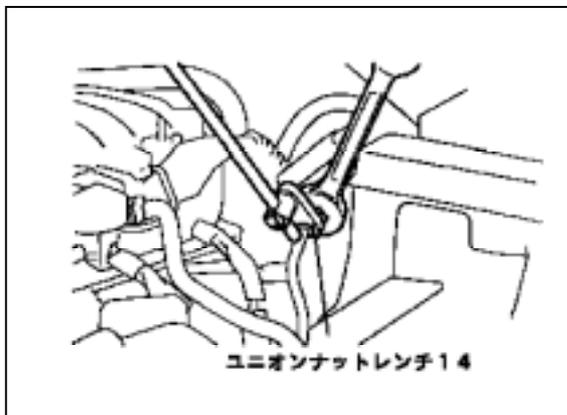
- 1) インジェクターコネクターをはずす
- 2) スロットルセンサーコネクターをはずす
- 3) その他エンジンワイヤーハーネスを外側にずらすために必要なコネクターをはずす
- 4) エンジンワイヤーハーネスクランプをはずし、ワイヤーハーネスをできる限りマニホールドからはなす  
→ ひもなどで外側に寄せて固定しておくとい



12, スロットルボディウォーターバイパスホース 3 本はずし

13, スロットルボディ A S S Y はずし

- 1) ナット 2 個およびボルト 2 本をはずし、スロットルボディをはずす

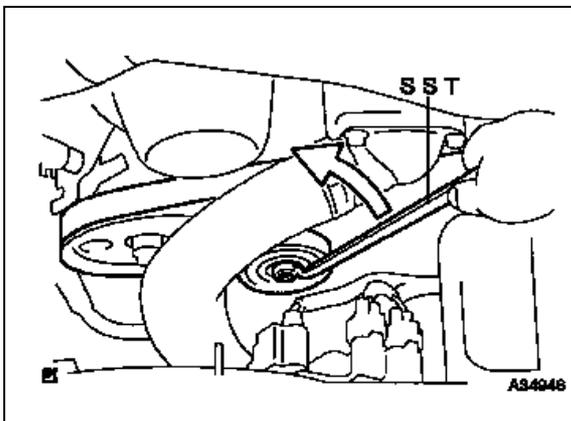
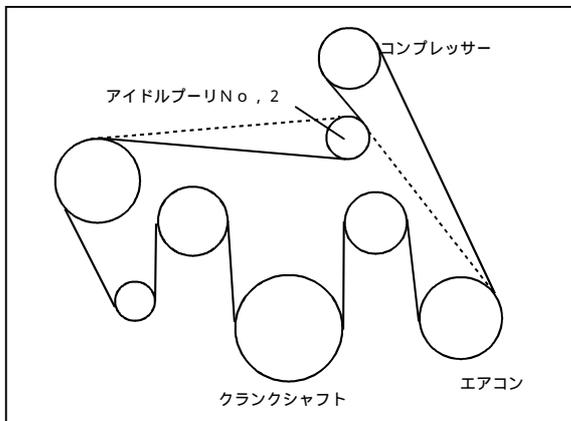
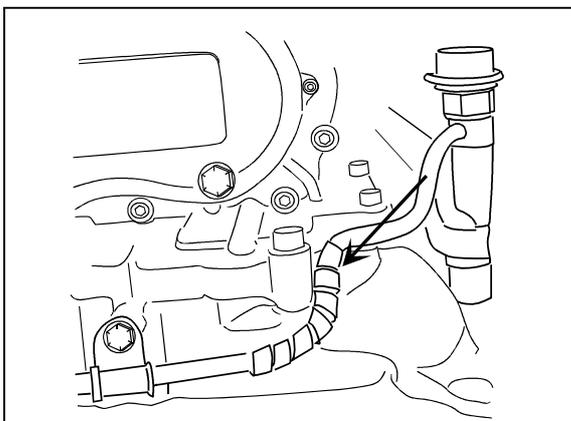
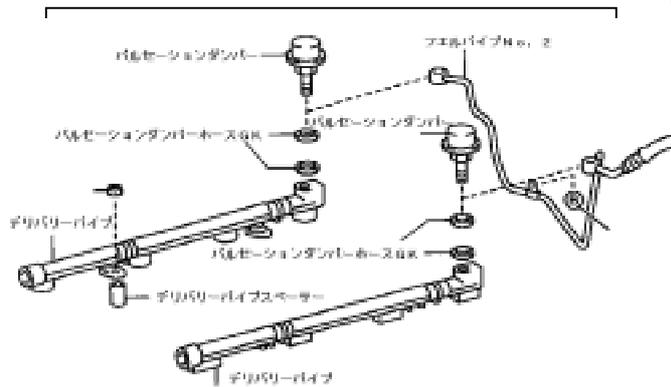


14, フuelライン切り離し

- 1) フuelタンクのキャップをはずし、フuelタンクの圧力を抜く
- 2) ユニオンナットレンチ 14 を使用してフuelメインホースを切りはなす  
⇒ フレアナットが広がっている場合ははずしにくいので注意する  
⇒ ガソリンの流出に十分注意する

15, インテークマニホールド A S S Y はずし

- 1) ボルト 6 本ナット 4 個をはずし、インテークマニホールド A S S Y をはずす



## [ 2 ] インジェクター , デリバリパイプ 付け替え

### 1, インジェクター、パイプはずし

- 1) インテークマニホールドからデリバリパイプ、パルセーションダンパー、フエelpパイプNo. 2、デリバリパイプスペーサーおよびインジェクターをはずす

→パルセーションダンパー左右をはずし、インジェクターとパイプは一体ではずすとよい

⇒ **はずす前にインジェクターが回転することを確認する**

### 2, インジェクター、パイプ取り付け

- 1) 純正デリバリパイプスペーサー 4個をコンプレッサのスタッドボルトに取り付ける

- 2) フエelpホースNo. 2とコンプレッサが干渉する位置にインシュレーターをずらして巻き付ける

- 3) はずした手順と逆の手順で取り付ける

⇒ **パルセーションダンパー 締付けトルク 39N.m(400Kgf.cm)**

⇒ **デリバリパイプナット 締付けトルク 18N.m(185Kgf.cm)**

⇒ **パルセーションダンパーガスケットは新品に交換する (90430-12026 4個)**

⇒ **インジェクターが回転することを確認する。滑らかに回転しない場合は、Oリングのかみ込みが考えられるため、インジェクターを取りはずして再度Oリング (90301-07024) を新品に取り替えて作業を行う。**

⇒ **ガソリン漏れの原因となるためフエelpパイプを無理に曲げないこと**

## [ 3 ] Vベルト取り付け

### 1, アイドラプーリー交換

- 1) アイドラプーリーNo. 2を(32)アイドルプーリーに交換する

⇒ **締付けトルク 39N.m(400Kgf.cm)**

→プーリーカバー(ワッシャー)は使用しない。ボルトは再使用する

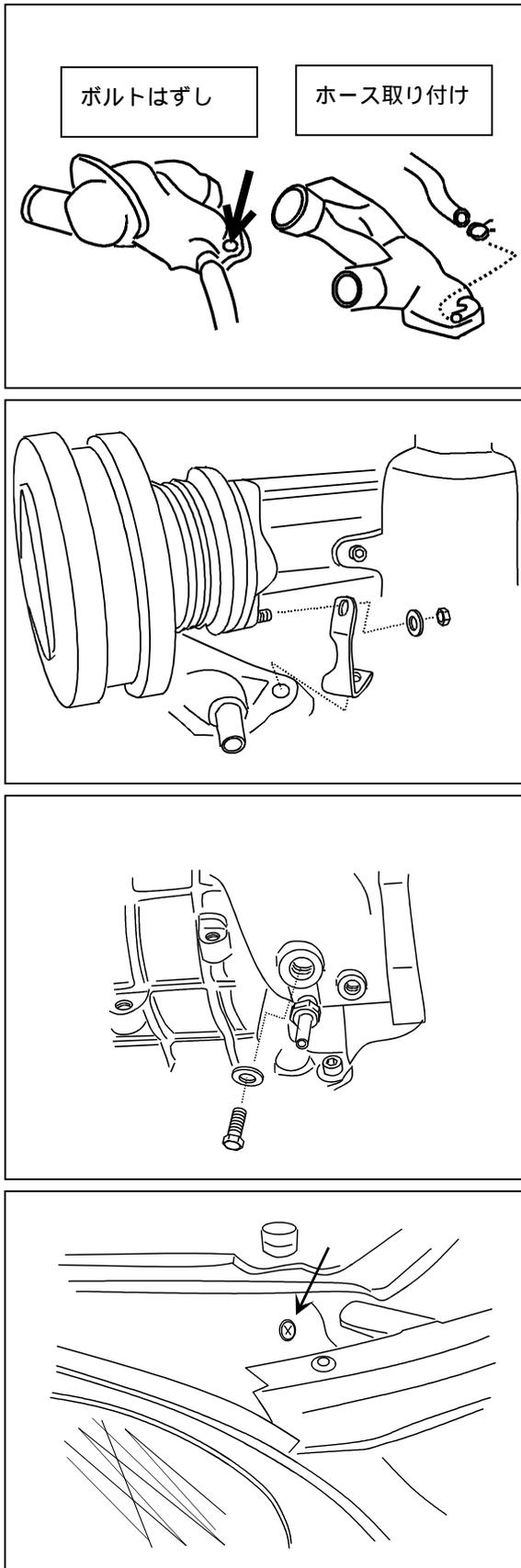
### 2, Vベルト交換

- 1) Vベルトを交換する左図の実線のように取り付ける

→テンショナーのプーリセットボルトにレンチをかけ、テンショナーを左に回転させて張力をゆるめ、ベルトを取りはずす。

⇒ **プーリセットボルトは左ねじを使用しているため右回転させるとプーリセットボルトがゆるむ。**

→ベルトは仮に取り付ける



## [ 4 ] コンプレッサー取り付け

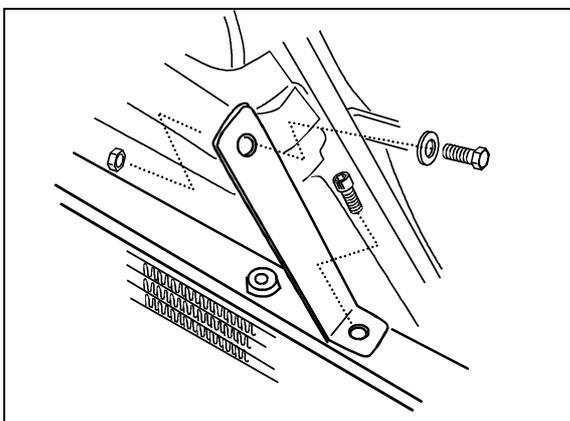
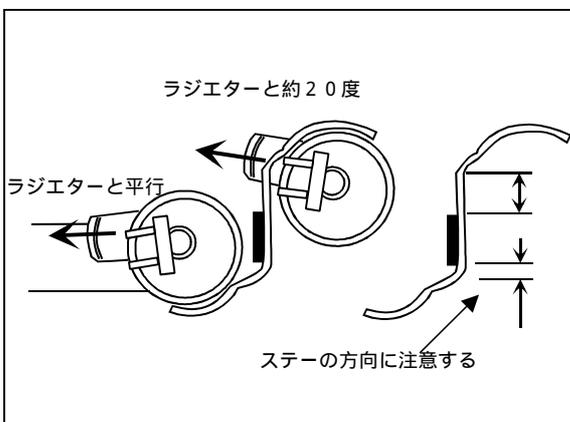
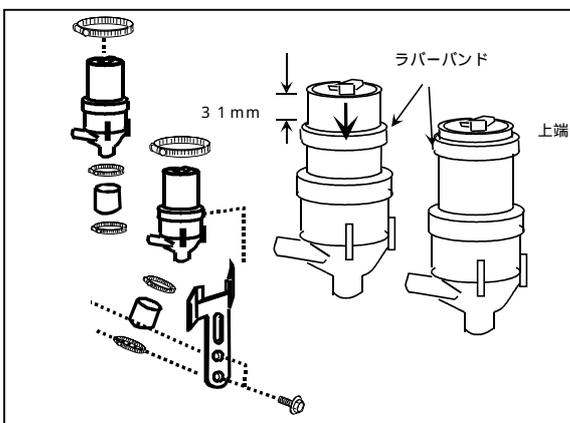
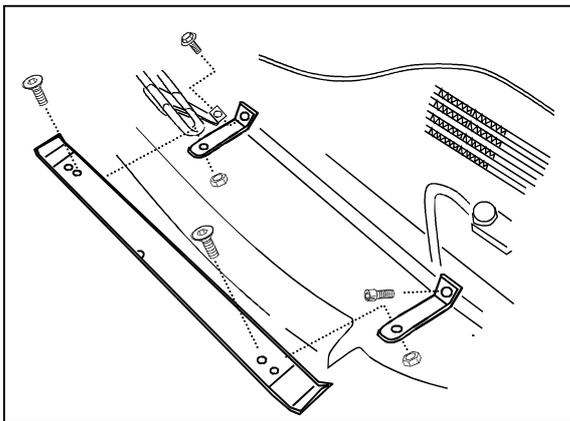
装着前に保証書にコンプレッサー本体後面のシリアル番号 (SER,NO 後の7桁数字) を記入してください (搭載後は見にくい)

- 1) コンプレッサー取り付けの前に、(33)ウォーターバイパスホースNo. 1 (250mm) をウォーターバイパスジョイント側 (エンジン側) に取り付けておく (純正バンド再使用)  
→コンプレッサー装着後は作業が悪い
- 2) ウォーターインレットハウジングのボルト1本をはずしておく (左図参照)
- 3) マニホールドガスケットを交換する (純正) 17171-50020 2個  
⇒ **白ペイント側を上向きにする**
- 4) はずしたインテークマニホールド用ボルト6本およびナット4個を使用してコンプレッサーを取り付ける  
⇒ **コンプレッサーを垂直に均等に入れること。エンジンヘッドに確実に接地していることを確認してボルトナットを取り付ける**  
⇒ **締付けトルク 18N・m(185Kgf・cm)**  
⇒ **フェルラインをハーネスの間を通すこと**
- 5) 上記2)ではずしたボルトと、(74)ワッシャー(73)ロックナットで(72)ノーズステーを取り付ける (左図参照)  
⇒ **ロックナット締付けトルク 8N・m(80Kgf・cm)**  
⇒ **ハウジング締付けトルク 19N・m(195Kgf・cm)**
- 6) Vベルトを取り付ける  
→テンショナーを押し下げてベルトをつける  
⇒ **プリーセットボルトは左ねじを使用しているため右回転させるとプリーセットボルトがゆるむ**
- 7) (51)ソアラブースタユニオンプラグ、(52)シールワッシャーをコンプレッサーに取り付ける  
⇒ **締付けトルク 35N・m(355Kgf・cm)**
- 8) フェルメンホースを取り付ける  
⇒ **締付けトルク 31.2N・m(318Kgf・cm)**  
→フレアナットが広がっている場合がある。その場合フレアナットが締まりづらいため注意する

## [ 5 ] ラジエター、ウォーターポンプ、ホース取り付け

1, ラジエターサポートツーフレームシールRHクリップはずし

- 1) ラジエターサポートツーフレームシールRH (ヘッドライト横ゴムカバー) のクリップ1個をはずす (シールをフリーにする)



## 2. ラジエーター取り付け

- 1) (16A)トレーステーを図の位置に取り付ける  
→ R Hはパワーステアリングクーラーボルトに共締めする  
→ L Hは(8)ボルトにて取り付ける  
⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**
- 2) ラジエーター(14)をラジエーター前方の図の位置に(16B)皿キャップボルト(10)ロックナットで取り付ける (内側穴はソアラU Z Z 4 0用、外側穴はセルシオU C F 3 0用)  
⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**  
→ トレーのマーク穴がフロントを向く

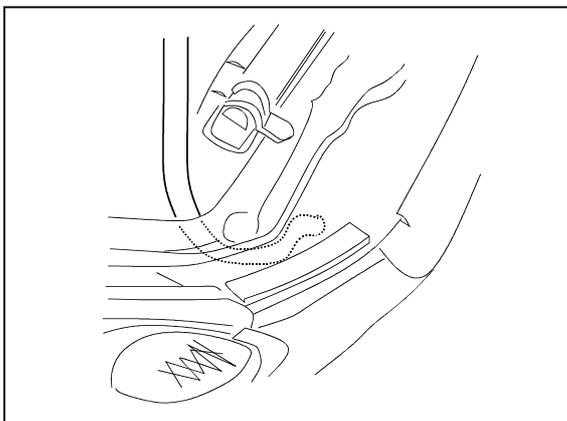
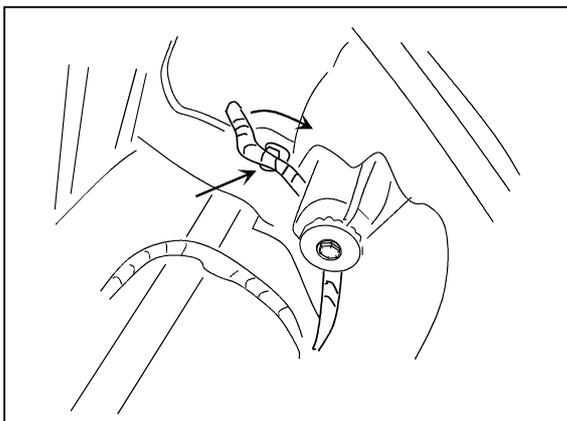
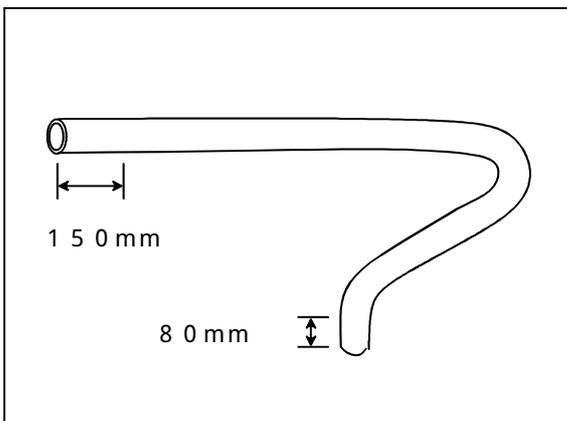
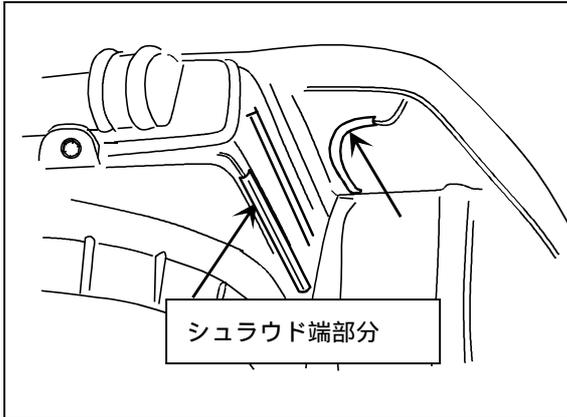
## 3. ウォーターポンプ取り付け

- 1) (20)ウォーターポンプに(24)(25)ホースおよび、(27)インレットホースバンドを取り付ける
- 2) (21)ウォーターポンプステーを(22)ボルト2本でラジエーターに取り付ける  
⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**  
→ ステーの方向に注意する (左下図参照)
- 3) ウォーターポンプを(23)ウォーターポンプクランプバンドでステーに取り付ける  
→ ウォーターポンプについているラバーバンドの位置をクランプバンドの位置にあわせる

→ ウォーターポンプアウトレットはラジエター側に図のような角度で取り付ける

## 4. ラジエーター取り付け

- 1) (17)インタークーラーラジエーターステーを(22)ボルトでラジエーターに取り付ける  
→ 取り付けボス2カ所のうち、中央のボスに取り付ける  
⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**
- 2) ラジエーターをトレーの上へのせ、ステーを(6)六角ボルト(7)ワッシャー(10)ロックナットでボンネットロックサポートブレースに仮止めする



## 5. インタークーラーホース取り付け

- 1) (41)プロテクターモールを半分にカットする
- 2) ヘッドライトRHの内側のボディ、および純正ラジエーターファンシュラウドの図の位置に取り付ける (ホースとボディの干渉防止)  
→シュラウド角部より30 mm 下側に取り付ける  
→モールの内側に瞬間接着剤等を塗布して取り付ける

- 3) (18)インタークーラーアウトレットホースを左図のようにカットする

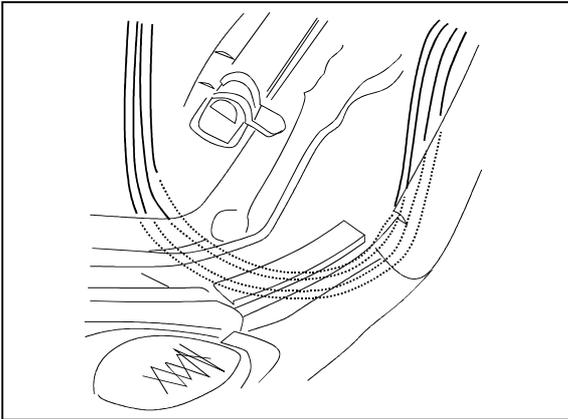
- 4) ヘッドライト横のワイヤーハーネス (左図) のクリップをはずし、ハーネスをずらす (以下のホースとの干渉防止)

- 5) (18)インタークーラーアウトレットホースを配管する

- 6) (19)ホースバンドでホースをコンプレッサーのリザーブタンク下部に取り付ける

- 7) (19)ホースバンドでホースをラジエーター側に取り付ける

⇒ **バンドは止めずにおく (エア抜きの際ホースをあけるため)**



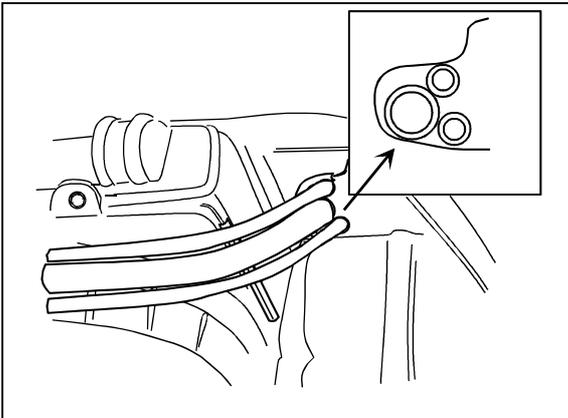
8) (26)インタークーラーインレットホースを配管する

9) (27)ホースバンドでホースをコンプレッサーに取り付ける

10) (27)ホースバンドでホースをウォーターポンプ2個に取り付ける

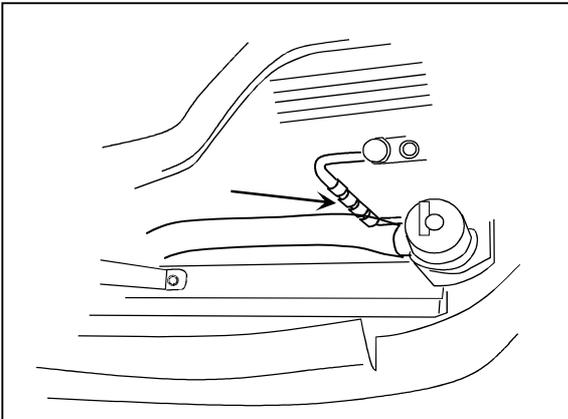
⇒ **ホースとボディおよびラジエーターシュラウドの干渉する個所に(41)プロテクションモールがとりついていること**

→ホースの取り回しは左図を参照する



11)クーラーパイプが接触する場合は車両後方に少しパイプを押し曲げる(強く曲げないこと)

→パイプと近い位置に(11)インシュレーターをまく



12) (28)インタークーラーホースガイドをサーモスタットケースボルトに共締めする

⇒ **締付けトルク 19N.m(195Kgf.cm)**

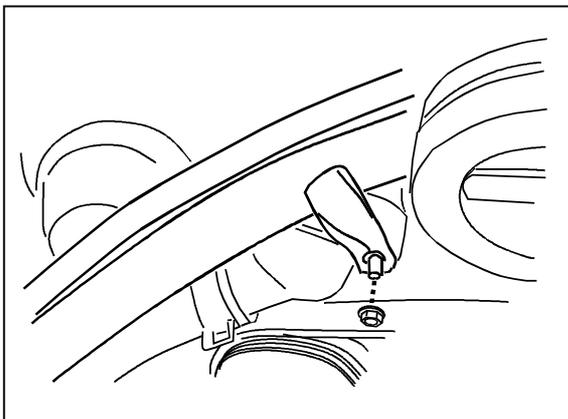
⇒ **ボディおよび部品と無理な接触がないこと**

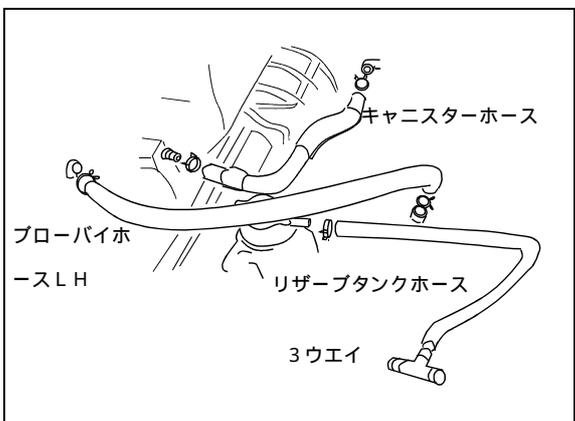
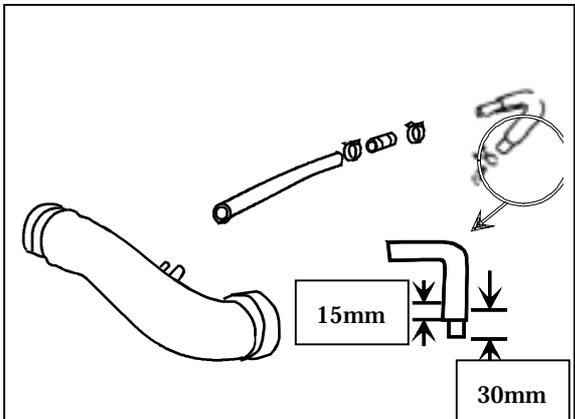
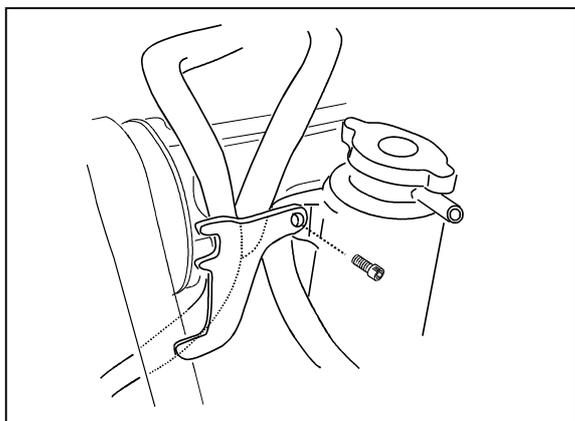
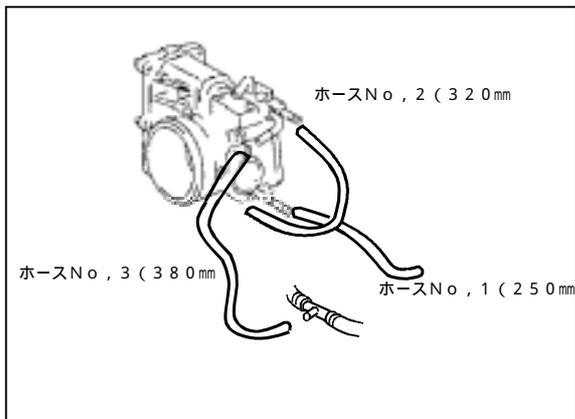
⇒ **Vベルトとの干渉がないこと**

13) 前述4-2)のボルトナットを本締めする

⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**

14) (29)ラジエーターアッパーホースを取り付ける(バンドは再使用する)





## [ 6 ] スロットルバルブ取り付け

### 1, スロットルバルブ A S S Y 取り付け

- 1) 取り付け前にスロットルバルブ下側のウォーターバイパスパイプ 2 個所に 4 - 1) で取り付けした(33)バイパスホース No. , 1 と、(34)バイパスホース No. , 2 ( 3 2 0 mm ) を取り付けしておく

→スロットルバルブ取り付け後は作業性が悪い

- 2) はずしたボルト 2 本、ナット 1 個と、(12)ボルトでスロットルバルブをコンプレッサーに取り付ける

⇒ **締付けトルク 18N・m(185Kgf・cm)**

→ガスケットは新品を使用する 22271-50042

- 3) (33)(34)(35)ウォーターバイパスホースを取り付ける (バンドは純正を再使用)

- 4) コンプレッサー本体のウォーターリザーブタンクのフロント側ボルトをはずし、(36)ウォーターバイパスガイドを共締めする

⇒ **締付けトルク 10N・m(106Kgf・cm)**

⇒ **Vベルトとの干渉がないこと**

### 2, エアクリーナーケース取り付け

- 1) エアクリーナーケースを取り付ける

⇒ **締付けトルク 5N・m(50Kgf・cm)**

→インタークーラーホースが**つぶれすぎない**ように注意する (ホースの位置を調整する)

- 2) (30)エアインレットホースを標準のバンドを使用して取り付ける

## [ 7 ] ホース取り付け

### 1, ブローバイホース取り付け

- 1) 純正ブローバイホース RH を図のようにカットする (ヘッド側を 3 0 mm、プロテクターを 1 5 mmカットする)

- 2) カットしたホースをヘッドカバーに取り付け、(37)ホースと(39)パイプを(40)バンドで純正ホース及び(30)エアインレットホースに取り付ける

- 3) 純正バンドを再使用して、(38)ホースをスロットルボディおよびヘッドカバー-LHに取り付ける

### 2, リザーブタンクホース取り付け

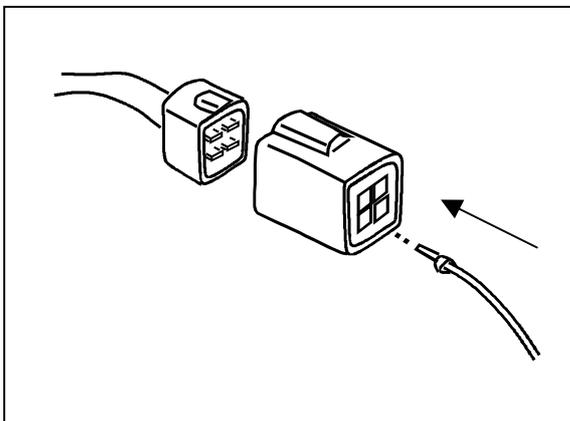
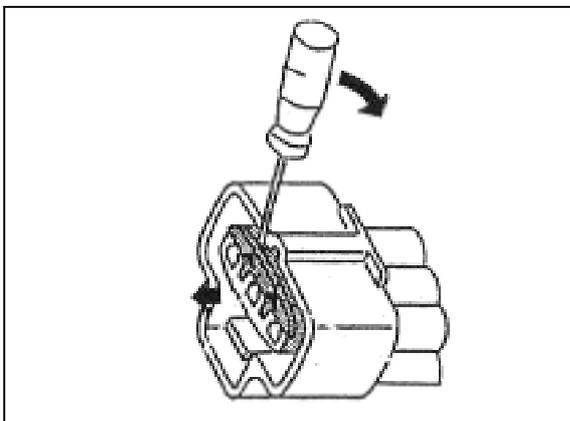
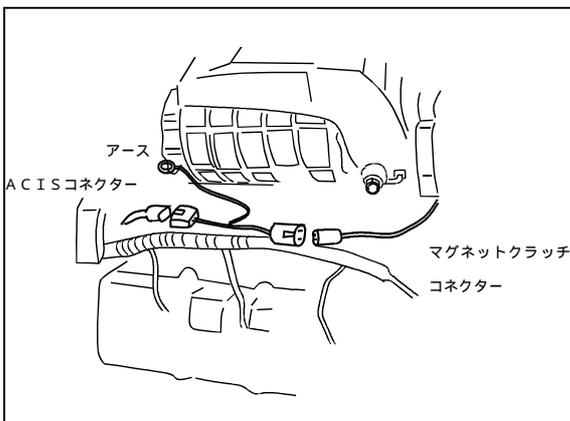
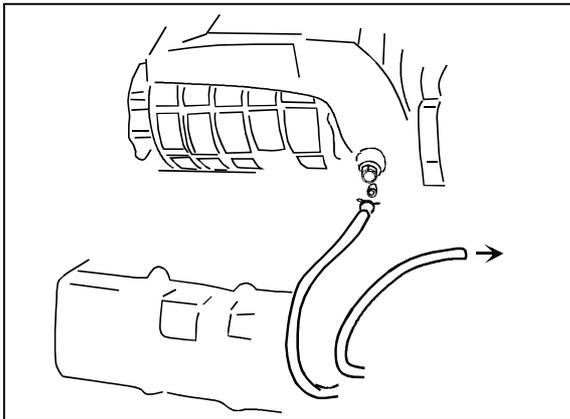
- 1) (42)ホースを(43)バンドを使用して、ヘッダータンクに取り付ける

- 2) (42)ホースの反対側に(75)3ウェイをつける

- 3) 純正リザーブタンクのホースを中間付近でカットし、(75)3ウェイをつなぐ

### 3, キャニスターホース取り付け

- 1) 純正キャニスターホースを純正バンドでコンプレッサーのユニオンおよびキャニスターバ



ルブに取り付ける

⇒ **パイプ抜け止めの2段目を超えるまでホースを差し込む。バンドは2段目より奥で止める**

#### 4. パワーステアリングアイドルアップホース取り付け

- 1) マニホ - ルド側についていたホースをカットしてコンプレッサのユニオンに取り付ける (バンドは純正を再使用)
- 2) レゾネーター側についていたホースを(30)エアインレットホースに取り付ける (バンドは純正を再使用)

### [ 8 ] ハーネス取り付け

#### 1. マグネットクラッチハーネス取り付け

- 1) (60)マグネットクラッチハーネスをACISコネクタとマグネットクラッチコネクタに取り付ける
- 2) アースを純正エンジンカバーブラケットリヤRHのボルトでコンプレッサに取り付ける  
⇒ **余ったハーネスはベルトなどに接触しないようテーピングする**

#### 2. スロットルポジションセンサーハーネス取り付け (ソアラの該当車両 = ハーネスが届かない車両 = のみ)

- 1) スロットルポジションセンサーの純正コネクタハウジングからターミナルを抜き取る  
→ 黄色部分のロックを精密ドライバー等で手前に引き出した後、ターミナルのロックをはずしてターミナルを抜く
- 2) はずしたターミナルを付属のコネクタハウジングに以下のワイヤー色どおり取り付け  
→ 左図の矢印側から見る  
→ 白色のロックを手前に引き出してから入れる  
⇒ **接触不良に十分注意する**

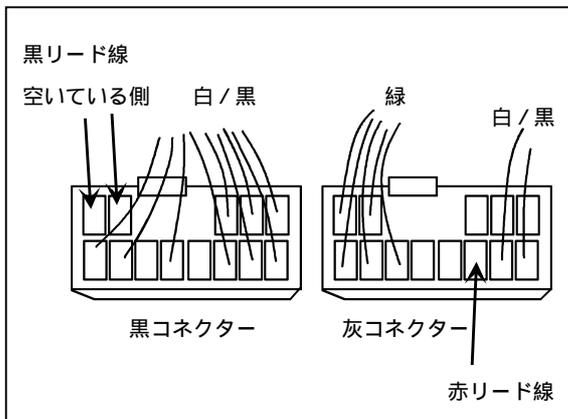
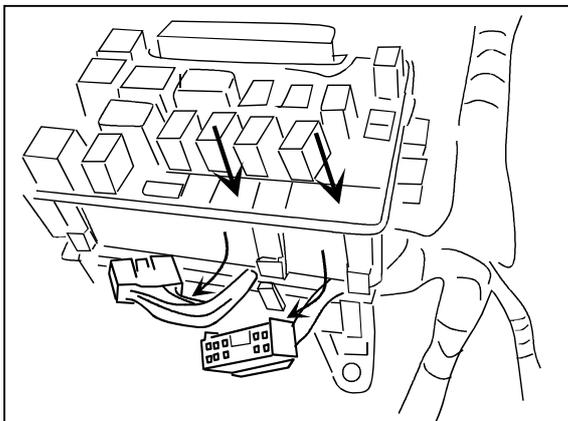
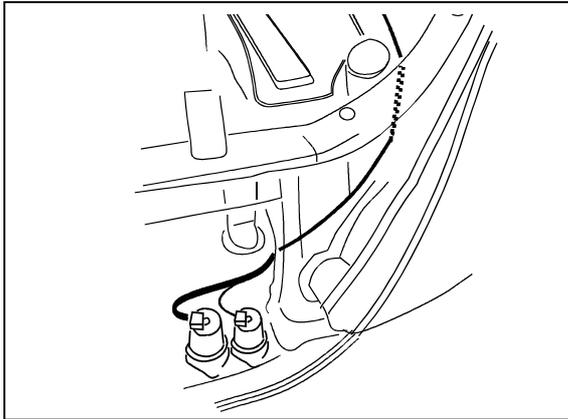
1	2
3	4

⇒ **配線を間違えないように十分注意する**

	延長ハーネス側 ワイヤー色	シャシーハーネス 側ワイヤー色
1	むらさき	青 赤
2	黄	黄
3	ピンク	青黒または黒
4	茶	茶

#### 3) コネクタを接続する

⇒ **余ったハーネスはベルトなどに接触しないようテーピングする**



### 3, ウォーターポンプハーネス取り付け

- 1) ポンプ2個にハーネスを取り付ける  
⇒ **コネクタをシール剤などで防水処理する**
- 2) ヘッドランプ横のすき間からハーネスをエンジンルーム内へ引き込む
- 3) クリップをはずし、エンジンルームサイドカバー-LHをはずす
- 4) ボルト2本、ナット1個をはずし、リレーブロックをはずす
- 5) リレーブロックのロック8カ所をはずし、リレーブロックを分割する

- 6) ロックをはずし、図のコネクタ2個を下側から引き出す

- 7) 引き出したコネクタの左図の個所にターミナルを差し込む

⇒ **図はコネクタを裏側(ハーネス差し込み側)から見ている**

⇒ **灰色コネクタ 赤リード線**

⇒ **黒色コネクタ 黒リード線(コネクタの空いている箇所でよい)**

⇒ **プラスマイナスを間違えないように注意する**

### 4, 純正ハーネス復元

- 1) インジェクターハーネスその他はずしたハーネスを取り付ける
- 2) 各ハーネスブラケットをコンプレッサーのステーに取り付ける

⇒ **締付けトルク 7.5N.m(80Kgf.cm)**

締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)

## [ 9 ] エンジン ECU 取り付け

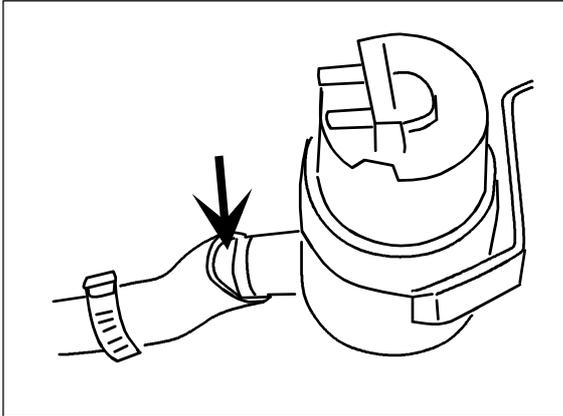
- 1) TEC を取り付ける

## [ 10 ] フロントパイプ、センターパイプ交換

- 1) 別途部品に同梱の取り付け説明書を参考にしてフロントパイプ、センターパイプを交換する

## [ 11 ] インタークーラーウォーター注入

- 1) ヘッダータンクから冷却水 (LLC 50%) を入れる



- 2) ウォーターポンプ側のアウトレットホースの上側を少しはずしてエアを抜きホースを戻す  
⇒ **冷却水が出てきてエアがない状態まで冷却水を流す**  
⇒ **ポンプ 2 個ともエア抜きする(片側ずつエア抜きすること)**  
⇒ **この位置にエアが残るとポンプの「カラ打ち」が発生し、ポンプが異音の発生やヒートしたり水が回らない場合があるため十分エアを抜く**
- 3) イグニッションを ON にして、ウォーターポンプが回転していることを確認する  
⇒ **音および感触で確認する**

- 4) ウォーターポンプのコネクターを片側ずつ取り付け、それぞれでエア抜きをする  
⇒ **ヘッダータンクの泡が完全になくなるまで片側ずつエア抜きをする**  
⇒ **タンクの冷却水が動いていることを確認する**
- 5) ヘッダータンクいっぱいまで補充する
- 6) キャップテスターを使用して冷却水の漏れを点検する  
⇒ **満水にした状態で 137kPa ( 1 . 4 K g/cm<sup>2</sup> ) の圧力をかける**

## [ 12 ] 冷却水注入

- 1) エンジン冷却水を入れ、エア抜きをする

## [ 13 ] 燃料コーションラベル・ベルトラベル貼り付け

- 1) 燃料コーションラベルをフューエルフィルターオープングリッド ( 給油口リッド裏面 ) に貼り付ける
- 2) ベルトラベルを純正ベルトラベルの上に貼り付ける

## [ 14 ] 各部確認

- 1) エンジンを始動して、アイドルリングし、ベルトの干渉などがいないか確認する  
⇒ **特にエンジン始動時や、レーシング時にベルトの干渉がないか確認する**
- 2) アイドルリングが安定しない場合は、エンジン ECU の学習値が安定するまで、アイドル放置および走行する
- 3) 走行後ガソリン、冷却水の漏れ等を点検する





【発売元】株式会社 トムス  
東京都世田谷区等々力6-13-10  
TEL 03-3704-6191

Ver, 3.0      2006/10/01 発行